

が出て、仲間に会えない、奉仕事業ができないことからロータリーの死命を制する原因にもなりかねなく感じられたこともありました。幸い、Zoomなどオンライン会議の方式により、リアルではないが例会を開催できる可能性が生まれ、今日、なんとか不十分ながらもオンライン会議のみ、更にはオンライン方式とリアル方式の併用によるハイブリッド方式で例会が行えるようになって参りました。例会の開催方法については、革新的な変化があったと言うことができます。この運営方針を決めたときは、本年2月の国際協議会終了直後であり、まだまだオンライン例会が開けないクラブが多数あり、これは大変だと言うことで、IT委員会を地区に作って、不十分ながらも例会開催できるところまで持って行こうとしたのが地区運営方針です。幸い、現時点ではオンライン例会開催可能クラブも増えてきたようですので少し安心していきますし、地区の部門委員会主催のセミナーもZoomで行うこととしましたので、地区およびクラブのデジタル化も大分進んできています。まだ、デジタル機器の利用ができないところは是非オンライン例会開催にトライしていただきたいと思います。オンライン例会の開催が可能となった後は、これを如何によく、かつ上手く利用するかと言うことになると思います。オンライン参加者は、ただ参加して見ているだけではなく、話に加わらせることが必要です。



次に、コロナ後のロータリー活動について少し触れさせてください。ロータリーで重要なことは、その肝ともいえる「ロータリーの目的」「中核的価値観」「四つのテスト」「DEIに関する方針」などです。この理解があればロータリーの基本が理解でき、ロータリー活動のすべてに通ずる考えが理解できることとなります。

さらに、ロータリー会員数の減少は大きな問題です。当地区は、新年度スタート時の会員数が2324名との話がでています。2600名が地区の増員目標ですので会員増強や新クラブ結成によってなんとか会員減少に歯止めをかけ、増加に転ずるよう持って行きたいと考えます。

そのためには、やはり私たちロータリアンが地域や世界で如何によいことをしているかを世間の皆様に知ってもらうことが必要であると考えます。それには、皆さんが地域で行っている奉仕活動があり、それを多くの地域の方々が知ること、また、世界ではポリオ根絶のための活動、また、これからアフリカザンビアで600万ドルをかけて行うマラリア根絶のために政府とともに奉仕事業、皆さんのクラブがそれぞれ行っているグローバルファンドを使った奉仕事業を知ってもらうことが必要です。これらを効果的に広報し、会員

増強に資することができればよいのではないのでしょうか。ロータリーで友とともに奉仕活動は、楽しくないはずがありません。みんなで楽しみながら地域や世界によいことをしましょう。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

クラブ協議会



埼玉県知事表敬訪問



福田和子会長が、10月7日（木）、第四グループの会長と共に埼玉県知事を表敬訪問されました。知事は、県政に関してお話しされたとのこと。

